

<ルール改正について>

・TR5.2 競技用靴に関する規程

→ シューズ購入後に、取り外し可能なインソールや装具を追加した場合、それらは靴底の厚さに含まれない。スパイクシューズ以外のシューズの際は計測することがある。

・TR17.4.3, 17.4.4 曲走路の内側を踏んだ際の扱い

→ 十勝支部の審判員数では厳正な判定はほぼ不可能だが、明らかに内側に入ったと複数の審判で確認された場合は失格となり得る（トラック審判長裁定）。全道以上では適用されるので部員にルールの周知を。

・TR29.3, 29.5, 30.1.1 走幅跳・三段跳の踏切判定

→ 現状では判定担当を置くことができないため、これまで通りで行う。全道以上では粘土板またはビデオカメラで判定が行われる。

・TR32.14 円盤投、ハンマー投の無効試技

→ 利き腕側の囲いネットに当たって有効面に落下した場合は有効試技、遠い側の場合は無効試技となる。

<トラック競技ラウンドについて>

・100m・・・6組以上の場合は準決勝を3組とし、4, 5組の場合は2組とする。

→ 7組3着+3, 6組3着+6, 5組2着+6, 4組2着+8

・200m・・・7組以上の場合は3組とし、4～6組の場合は2組とする。

→ 7組3着+3, 6組3着+6, 5組2着+6, 4組2着+8

・400m, 800m・・・5組以上の場合は準決勝を2組で実施し、4組以下の場合は準決勝を行わない。

→ 7組1着+9, 6組2着+4, 5組2着+6, 4組1着+4

・1500mは申込が21人以上の場合は予選を行う。

→ 横1列に並べられない。ルールでは原則15人以内。2組4着+α

・3000SCは申込が21人以上の場合はタイムレース決勝を行う。組は蛇行せず最高記録で分割する。

→ 危険防止のため（グループスタートができず、全員が横並びとなり、第1障害に殺到する）

・3000m, 5000m, 5000Wは申込が18人以上の場合はグループスタートとし、予選は行わない。

<審判について>

・各校引率者は必ず競技役員として協力いただく。そのため、サーキット2戦および3戦で審判業務にあたり、業務を体験していただきたい。なお、お手すきの際は役割以外もお手伝い願いたい。

柏葉 則末（跳躍）原林（競技者） **三条** 高澤（総務など）武内（アナウンサー）

緑陽 三原（競技者）中村（跳躍） **南商** 辻（技術総務など） **工業** 山口（風力）石塚（競技者）

農業 佐々木（写真判定）今井（写真判定）山根（投擲） **音更** 皆川（周回）大田（監察）

鹿追 豊田（アナウンサー）尾崎（監察） **清水** 松下（投擲）清水（周回） **大樹** 前田（監察）

芽室 菅野（スターター）中村（風力） **広尾** 石館（跳躍）船越（風力） **清陵** 西山（投擲）小野寺（投擲）

池田 森（出発）山本（出発） **足寄** 森川（出発）堀内（マーシャル） **大谷** 谷山（スターター）

帯北 小西（出発など）・泉（写真判定） **白樺** 佐々木（記録など）小西（跳躍）

※女性教員は、女子選手の介抱・介助が必要な際は手を貸していただく。

・C級審判資格を持つ部員は、競技のない日および競技の合間に審判業務を補佐していただく。ただし、判定に関わる業務はできないので、次のような業務となる。

→ 周回記録（鐘）、跳躍（砂ならし、呼び出し、記録表示）、投てき（ペグ刺し、呼び出し、記録表示）、出発、競技者、スターター（インカム）、アナウンス（記録読み）